

高校総体号外号

student council news paper

～太郎と良子のティータイム～



太郎♡良子



六月一日から高校総体がありました。六月号の号外で、高校総体についての記事をお届けします。



壮行式では、各部活動の意気込みを発表して頂きました。どの部活動の発表も素晴らしかったですよ！



→選手入場

国旗授与、選手宣誓も堂々としていてカッコよかったです。



→国旗授与

編集長たち生徒会や文化部、部活動未加入者は応援団として参加しました。編集長は、選手のみなさんに今までの練習の成果を発揮して欲しい、全力で勝ちに行っていきたいという気持ちで応援しました。選手のみなさんに、この気持ち伝わっていたのなら嬉しいです。



→応援

今まで優しく指導してくださった野球部のみなさん、ありがとうございました！そして、お疲れ様でした。



生徒会は、開会式では応援席で応援をしました。



→応援

選手のみなさんの行進をしているところを見ました！青商のみなさんの行進が一番良かったと、編集長は思います。応援も「青商が一番良かった」という声を聞くことができて、本当に嬉しかったです。



総合開会式行進

さて、ここからは生徒会で応援に行った部活動についての記事をお届けします。どうぞご覧ください。



五月二十六日、青森市立運動競技場で行われた、黒石商業高校VS青

森商業高校のサッカーの試合を新聞班は追いました。当日は好天に恵まれ、マネージャーや応援に回った選手による水分補給の補助が必須の様子でした。結果は四対二で負けてしまいましたが、必死にボールを追いかけ姿は忘れられません。また、顧問である鳥潟先生の「今こそ練習でやってきた幅使え」や、ボールが外野に出た際の「取ってやれ取ってやれ」という力強い声が印象に残っています。



→サッカー部試合

(編集長、三上記者)

バレーボール部

バレーボール部は、一回戦目は野辺地高校と戦って勝ちました。私は、一回戦目しか見ることができなかったのですが、どちらも諦めずに戦っていました。



→バレーボール部試合

最後のセットでは、相手にリードされた場面もありましたが、どちらもボールを落とさずに戦い、すごく感動する試合でした。私は、バレーボールの試合を初めて見ました。そこでビックリしたこと

が一つあります。それはとれないと思ったボールもすっかりとるところです。気づいたらボールが上にながっていて、それを何回も繰り返すので鳥肌がたちました。接戦のときは手に汗を握るほどの凄さで、とても感動しました。



→バレーボール部試合

(山口記者、藤本記者)

テニス部

一回戦むつ工業高戦では、ダブルスが残念ながら負けてしまいました。負けてしまったのは残念ですが、惜しい局面、スレスレのボールをとった



→テニス部試合

瞬間や気持ち良く決まった瞬間があって、テニスのルールを全く知らない私でもとても楽しめました。また、失敗があっても



→テニス部試合

相方を責めずに励ましていてとても良いペアだと感動しました。

シングルの場合は、相手のサーブが強烈で、それに奮闘している姿が印象に残っています。ダブルスに比べ、シングルは全体的にパワフルで、見ていて楽しむというより夢中になりました。途中三対二と接戦でしたが、あと少しまで相手を追い詰めました。

(佐々木記者、名古屋記者)

閉会式

高校総体閉会式には、生徒会と一年生の野球部で参加しました。編集長は、初めて閉会式に参加しました。編集長は人見知りなので、違う高校の人たちがたくさんいて緊張しました。

報告会



→部長による報告

高校総体が終わってすぐに報告会が行われました。部長の皆さん、発表お疲れ様でした。そして、東北大会に出場できることになった皆さん、本当におめでとうございます！



→国旗返還

生徒会で見に行った部活は三つしかありませんが、どれも素晴らしい試合だったと思います。



→選手退場

東北大会に出場する皆さん、一生懸命頑張ってください。良い結果が出ることを祈っています。生徒会全員で、皆さんのことを応援しています！

三年生は、東北大会に出場する人もいますが、これで引退をすることになります。三年生の皆さん、本当にお疲れ様でした。一、二年生は、来年は今年の結果を上回れるように、練習に励んでほしいと思います。

M E S S A G E

ここからは、サッカー部、バレーボール部、テニス部の顧問の先生、部長、マネージャーから頂いたメッセージを紹介いたします。お忙しい中協力してくださりました！それでは、どうぞご覧ください。

サッカー部顧問 鳥潟洋介先生

黒石商業高校との結果は二対四と敗北でしたが、勝てた試合でもありました。しかし、「勝てた」と「勝つ」の間には大きな壁があります。そこをサッカー部員には考えてほしいと思っています。勝てたかもしれないと満足しているうちは勝てません。なぜ勝てなかったのか、そこには原因が必ずあります。

今まで、全く勝てなかったチームが勝てたかと思えるチームに進化したことは見たことがありません。でもその上にくたためにも、この壁の大きさを感じて、その原因

を自分たちで考えて、次の壁に向かってほしいと思います。それが今後の人生にも大きく繋がっていくものと思っています。

サッカー部部長

最後の高総体に参加し、実感したことは、「成長」です。前半で二失点し、今までの自分達なら諦めていいますが、誰一人諦めていませんでした。DFが必死に守ってくれている分、「十番」を背負っている以上チームの熱い点を決めるといふ強い気持ちで実を結び二点決めた。同時に追いつきました。しかし後半に二点追加され負けました。結果は負けですが、チーム全員が今まで以上に本気で走り、体を張り、声を出し、本当にここまで

よく成長したなと自分でも思います。商業サッカー部は強くないし、人数も少ないです。それでも誰一人諦めず、毎日笑い楽しく、本気でサッカーができたのはチームメイト、先生方のおかげです。高校サッカーっ生活はかけがえない思い出になりました。携わった皆さん、本当にありがとうございました。

サッカー部マネージャー

去年と同じ高校と戦いましたが、去年に比べると、パス回しも良くなり、シュートも決められて、最後まで諦めずに試合をしていてとても良かったです。三年生はこれで引退ですが、一、二年生で選手権二次予選を目指して日々の練習を頑張っていていきたいです。

テニス部顧問

川浪和寿先生

高校総体の団体戦の組合せ抽選は県春季大会の顧問会議で行われ、今年も男女とも非常に良い組合せを引いたと思っています。しかし、残念ながら男子は初戦で敗退してしまいました。主力から全てが二年生のみで、相手の三年生の勢いに勝てなかったんだらうなと感じています。女子は予想では初戦はすんなり勝つのだらうと思っていたら、最初のダブルスが敗れたことを知って、「何やってんだー」と怒りがこみ上げてきました。男子の試合のあとまだ試合が続いていたので応援できて良かったです。結果的に二体一で勝ちましたが、選手たちは緊張しすぎて全校応援の前で自分のプレーができなかった様です。フレッシュヤーをおのけて思いっきりフレッシュしてほしかったです。二回戦の千葉学園はベスト四の常連校で挑戦できて良かったと思います。秋には勝ちます。

テニス部顧問 中嶋仁史先生

試合に勝つのは本当に難しく、どうしたら勝てるのか、相手の球を打ち返せるのか日々考えさせられる。高校総体は三年生が部活動の集大成として最高のベストパフォーマンスを發揮してくる。簡単には勝たせてもらえない。しかし、自分の中に相手を上回る自信があれば何が起るかわからない。これが試合だ。

青森商業高校テニス部はまだまだ発展途上だが、技術面はもとより、精神面がまだまだ未熟だ。自分の中で通信せず、謙虚な心を持って練習に取り組むべきだ。切磋琢磨しているか？チームメイトを尊敬しているか？テニスができることに感謝しているか？これを問いたい。私たちがこれから新人戦に向け、新たな決意で練習に取り組み、自分の中に揺るぎない自信が芽生えるまで、進撃に練習に励むのみ。

男子テニス部部长

全校応援での団体戦でした。二年生だけのチームで力及ばず、負けてしまいました。来年もまた高橋体があるので、団体戦では上にいけるように頑張りたいと思います。個人戦でも勝てるように全力を尽くし、頑張ります。

女子テニス部部长

テニス部女子です。今回の戦績は、二年生だけのチームでしたが、団体戦一回戦突破することができました。新人戦では団体ベスト八入りを目指して頑張っていきたいです。全校応援ありがとうございました。

バレーボール部顧問

原裕太郎先生

高校総体では二勝をあげ、本手に選手もマネー

ジャーも頑張ってくれたと思う。

総体では、結果を出すことができたが、そこまでの道のりは決して順調なものではなかった。四月からの試合結果を見ても、市内春季大会では自分たちの力を十分に発揮できず負けてしまった。しかし、県春季大会では出だしでおおきくりーされ後半挽回したが、勝つことができなかつた。

万全な状態で臨んだ試合ではなかったが、大卒などところで三年生が踏ん張ってくれた。いつもであればじりじりと点数が離されていくところを、粘り強いフレイでしっかりとついでいき、最後には逆転することができた。一、二年生もいつも以上の力を発揮してくれた。また学校から駆けつけしてくれた三学年を中心とする応援の力も大きかった。今回の勝利は、コートに立っていた六人だけのものではなく、控えのメンバー、マネージャー、スタッフ、応援団でもぎ取った勝利だと思う。

最後に三年生の皆さん、

今までお疲れ様でした。バレーボールだけではなく、人としても大きく成長したと思います。残りの高校生活を楽しんで、皆さんの進路達成を心から願っています。

バレーボール部部长

私たちは、一回戦野辺地高校、二回戦黒石商業高校と戦い、勝つことができました。

野辺地高校との試合では、接戦だったけど最後まで諦めずに皆で戦うことができました。たくさん応援が力となり、勝つことができたと思っています。

三回戦は木造高校に負けてしまいましたが、最後まで全力で戦うことができ悔いはないです。

社行式で宣言した「やったりますー」という言葉の通り、青商バレー部「やったりましたー」と報告できる結果にすることができてとても嬉しいです。たくさんの方々の応援と、今

まで熱心にご指導してくださった方々のおかげで県ベスト十六まで進出することができました。本当にありがとうございます。後輩の皆は、これからもっと勝ち進めるように頑張ってくださいー応援していますー

バレーボール部マネージャー

たくさんの方々ののおかげで、一回戦野辺地高校、二回戦黒石商業高校に勝利することができました。最後まで声を出し、粘りのフレイで諦めず、皆の想いを一球に込めて戦ってることができました。

たくさんの方々、全校応援が選手の間となり、練習の成果が発揮でき、勝利することができたと思っています。

三回戦木造高校に負けてしまいましたが、最後まで全力で戦い抜くことができました。

青商バレー部「やったりましたー」という報告をすることができ、本当

に嬉しいです。たくさんの方々の応援、支えがあり、県ベスト十六という最高の結果で終わらせることができました。本当にありがとうございます。代で終わらせないためにも、横断幕に掲げた言葉を引き継いで欲しいです。



号外の「生徒に突撃！」では、自転車競技部の部長に取材をしました。それでは、どうぞご覧ください。



Q1、取材されると聞いたとき、どう思いましたか？

A、高橋体終わったから、皆されているんだなと思えました。

Q2、東北大会に出場できるとなったときの気持ちを教えてください。

A、県大会で一位じゃなかったから、練習をしっかりとやり、東北で優勝したいと思いました。

Q3、ライバル校はありますか？

A、福島県が強いから、福島に負けたくないです。

Q4、得意種目は何ですか？

A、スプリントと、4km速度競争です。

Q5、東北大会へ向けての練習メニューはどうですか？

A、東北だから、県より少し緊張感を持って練習しています。

Q6、今後、自転車競技部にはどんな部活になってほしいですか？

A、自分から積極的に練習するようにしてほしいです。

Q7、今後の目標を教えてください。

A、進路が競輪学校への進学なので、試験の練習を進めたいです。